

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

| | |
|------------------------|--|
| 研究計画書番号 | RP18-59 |
| 研究課題名 | 遮蔽調査および線量調査 |
| 研究責任者（所属） | カリングス・ハリー（放射線影響研究所） |
| 試料・情報の利用目的及び 利用方法 | <p>利用目的：本調査の目的は、広島および長崎の原爆被爆者の線量推定値の精度を高め、当該線量推定値にかかわる不確実性の特性を明らかにすることです。調査中のあらゆる健康影響について放射線の線量反応の特性を明らかにするには、正確かつ詳細な線量推定値が不可欠です。放影研研究の結果は他の被曝集団の放射線防護のため、日本国内のみならず、国際機関、また世界の他の機関によって使用されています。</p> <p>利用方法：線量推定値は、核爆発、並びに被爆者が直接被曝した中性子線とガンマ線に関する発生、輸送、および遮蔽による変化に基づいて計算します。これらの推定値は、日米両政府が資金を拠出する外部の研究ワーキンググループによって開発された「線量推定方式」によって計算されてきました。線量推定方式を改良・刷新するため、放影研は定期的に外部の共同研究者との研究に携わっています。さらに放影研では現在、被爆位置と地形などによる遮蔽に関する入力データを改善し、個人線量推定値の不確実性の特性の解明により放射線のリスク推定値に対する不確実性の影響を軽減し、また入力データが不完全な被爆者の線量推定値を補完するための手法についても研究しています。解析研究を利用する際は、調査対象者の氏名等の情報は除去され、個人が特定されることはありません。</p> |
| 他の機関への提供の有無 | <p><input checked="" type="checkbox"/>有（提供先機関：米国 LEIDOS 社） 個人データは氏名等の情報が除去された後提供されます。</p> <p><input type="checkbox"/>無</p> |
| 利用し、又は提供する 試料・情報の項目 | <p>被爆位置 遮蔽情報</p> |
| 利用する者の範囲 | <p>放射線影響研究所 カリングス・ハリー 統計部解析室の担当職員 疫学部原簿管理課の担当職員 米国 LEIDOS 社 エグバート・ステファン</p> |
| 試料・情報の管理に責任を | カリングス・ハリー（放射線影響研究所） |

| | |
|-------------|--|
| 有する者の氏名又は名称 | |
| 統括個人情報保護管理者 | 放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀 |
| 問い合わせ先 | 【研究担当者】 氏名：カリングス・ハリー 公益財団法人 放射線影響研究所 統計部 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL：082-261-3131 |